

# 山梨県民は魚介類が好き

## ～8月15日 刺身の日～

「刺身の日」は、室町時代後期の書記官・中原康富(1400-1457)が、1448年(文安5年)8月15日の日記に、『鯛なら鯛とわかるように、その魚のひれを刺しておくので刺し身(「さしみなます」の名の起り)』と記録しており、この日記が書かれた日にちなみ、「刺身の日」となったようです。

今回は「刺身の日」にちなんで、魚介類にまつわる統計を見てみましょう。

「山梨県民のマグロ好き」は有名な話ですが、総務省統計局の『家計調査』から、魚介類についてみると....。

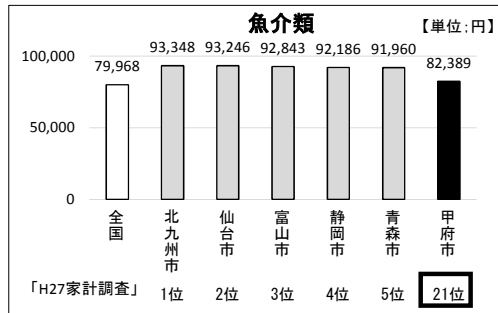
まず、甲府市の魚介類全体への支出金額は、右図のとおり21位と、決して高くありません。

ところが、あさり、まぐろ、干しあじについては、全国で1位、2位、2位という結果となっています(右、支出金額順位表参照)。

海なし県である山梨県で、これほど上位のランクであるのは、やはり、お隣、静岡県との密接なつながりが関係しているようです。

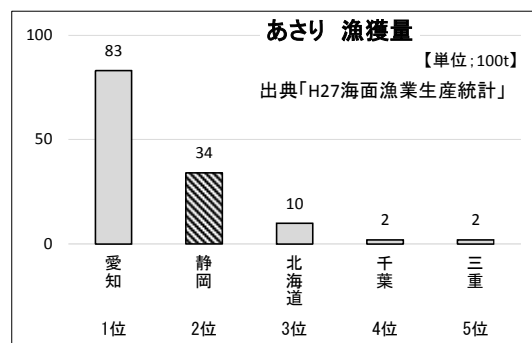
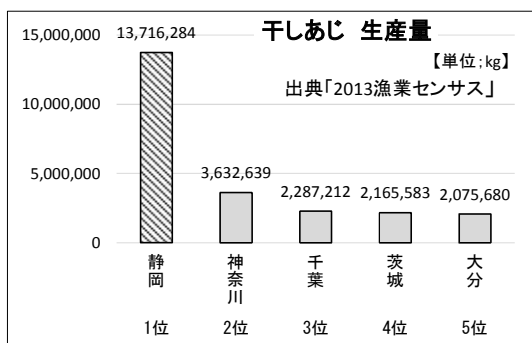
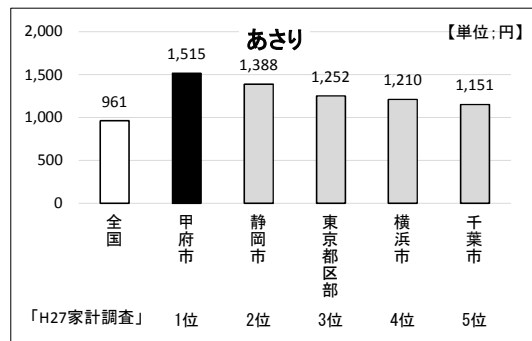
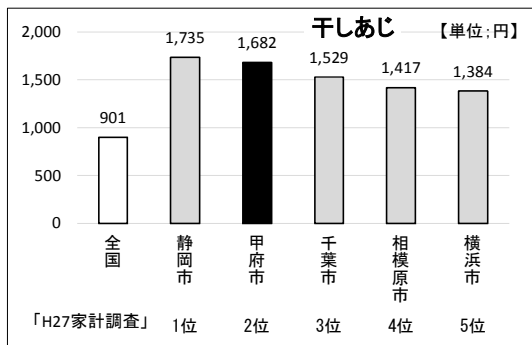
全国の主な生産地として静岡県をみた場合、干しあじの生産量では全国第1位、あさりの漁獲量でも愛知県に次ぐ第2位となっています。

昔から、山梨県と静岡県とは、中道往還や富士川舟運による物資の交流が盛んであり、素早く山梨県の食卓に海の幸が届けられるような努力が重ねられて食習慣となり、その歴史が今も山梨県民の食生活に息づいているのかもしれない。



魚介類の品目	支出金額順位
あさり	1
まぐろ	2
干しあじ	2
しらす干し	6
しじみ	7
ほたて貝	7
さけ	10
塩さけ	11
かつお節・削り節	14
いか	15
ちくわ	16
たらこ	19
さんま	25
かき	29
たこ	30
あじ	31
揚げかまぼこ	35
かまぼこ	35
かれい	36
さば	38
えび	43
かつお	44
たい	44
かに	44
いわし	46
ぶり	49

出典「H27家計調査」 ※品目はその他の類を除いた



統計は、過去と未来をつなぐ数字を生み出します。今後とも統計調査にご協力をお願いします。